

**「2022年度冬季対策について」提案を受ける!!①**

2022年9月27日に「2022年度冬季対策について」提案を受けました。提案内容については以下の通りです。今年度は昨年以上の厳冬が見込まれ、安全な鉄道運行を確保するためにも分会での議論が重要です。不明な点については仙台地本業務部まで連絡をお願いします。

## 1 機械除雪の実施計画

機械除雪線別基本パターン設定数

(2021年12月1日～2022年3月31日の間、必要の都度運転)

※表中の設定パターン数について、(投)表記は投排雪保守用車の略

線名	項目	運転区間	設定パターン数
仙山線		陸前白沢～北山形	20(投3)
磐越西線		郡山～喜多方	38(投11)
只見線		会津若松～大白川	26(投14)
奥羽本線		福島～院内	67(投9)
陸羽東線		岩出山～新庄	17(投1)
米坂線		米沢～菰生	8
左沢線		北山形～左沢	9

## 2 列車暖房余熱

2022年度冬期間における始発列車等に対する暖房余熱を次の通り施行する。

## (1) 余熱期間

2022年11月15日～2022年4月20日まで

※小野新町駅は2022年12月10日～2022年3月20日まで

## (2) その他

臨時列車又は、臨時に増結される車両については、関係箇所と打ち合わせのうえ、これに準じて実施する。

## 3 出区点検時におけるパンタグラフの昇降試験の省略

## (1) 実施機関

2022年12月15日から2023年2月28日まで

## (2) その他

臨時列車又は、臨時に増結される車両については、関係箇所と打ち合わせのうえ、これに準じて実施する。

## 3 山形新幹線除雪対策

## (1) 初列車対策

2022年12月15日から2023年2月28日までの間、福島～米沢間は、除雪機械(投排雪保守用車及びロータリーモーターカー)による除雪作業を実施する。

## (2) 車両除雪対策

2022年12月15日から2023年2月28日までの間は、新庄統括センター及び山形新幹線車両センター入区後着雪状態を確認し、必要により車両の除雪を行う。また、福島駅到着時、車両に着雪がある場合は、必要によりJ-TEC雪落とし班(新幹線統括本部契約)により車両の除雪を行う。